



SSKW

# moderato

社会福祉法人藤沢育成会

2002年4月23日 第3種郵便物認可(毎月3回5の日発行)  
2017年12月12日発行 SSKW 増刊通巻4379号INCLUSION  
FUJISAWA

【モデラート: 中くらいの速さで(音楽用語)】

Vol. 75



【特集】「お正月」インクビュー ..... P2-P3

■いつわ会・成年後見制度について ..... P4-P5

【30周年記念シリーズ③】

時代のニーズに即して、サービスを拡大 ..... P6

■「Samu's Voice」: 理事長コラム ..... P7

■「ますます華麗に 節子の部屋」: 西條節子さんコラム ..... P7

■「あっと!」表紙解説 ..... P8

2002年4月23日 第3種郵便物認可(毎月3回5の日発行)  
2017年12月12日発行 SSKW 増刊通巻4379号

## 『あっと!』 日常の中で 見つけたアート



PROFILE  
足立美星さん  
サービスセンターばる  
カラフル

今月の「あっと!」は、  
サービスセンターばる放課後等デイサービス  
「カラフル」での出来事です。  
フリータイムでは、みんなそれぞれ  
お気に入りの遊びや過ごし方があります。  
彼女の過ごし方の一つは、  
折り紙で折り鶴を折ることです。  
フリータイムになると、スタッフの名前を呼んで  
「折り紙をください」と上手に伝えてくれます。  
スタッフが折り紙を10数枚渡すと、  
手際よく、一羽、また一羽と  
どんどん折り鶴を折っていきます。  
大きい折り紙でも小さい折り紙でも、  
上手に折ることが出来るのです。  
そんな彼女の折った折り鶴で、  
大きなレジ袋一つが満杯になりました。  
(サービスセンターばる 浅岡 健)



●編集/いつわ会【(社福) 藤沢育成会 施設利用者家族会】  
●〒251-0016 藤沢市弥勒寺2-7-13 (湘南あおぞら内) TEL0466-25-5551 FAX0466-25-5556  
●責任者/石川 修  
●(社福) 藤沢育成会URL ◇ <http://www.fukusei.or.jp/>

●発行所 〒157-0073 東京都世田谷区砧6-26-21  
●特定非営利法人障害者団体定期刊行物協会  
●定価50円

ジャーナル・ジャーナンジの  
「お正月」にならないたい

湘南だいち  
櫻井 正和さん

お正月の楽しみは  
おせち、おもちや、おやつに、  
お年玉

中村 仁志さん

「正月四日出」  
と歌いつけるとお正月  
が来ます。

土屋さん  
アシジニア  
土屋昭彦さん

家族で一緒に

お姉さんのことが大好きで、  
お家に帰ることを  
楽しみにしています。

湘南セシリ亞

川田 栄子さん

グループホームを出て、  
一人暮らしをしたい

根本 美弥さん

サービスセンターばる

青山 亮さん

湘南ゆうき村  
青山亮さん

おせち料理！

お年玉もらつたり何を買う？  
「お年玉ももらつたり何を買う？」  
と聞いたといふ。好きな人へ  
「チョコを買う。好きな人へ

伊東 美冓さん

サービスセンターばる

トイレス、機織り、  
劇の好きな大好きだよ

高橋 未来さん

よし介工芸館

「おせち」

青木 兵衛さん

あけまして  
今年もよろしく  
お願いします！

沖山 美都子さん

湘南あおぞら  
沖山美都子さん

美味しいものを探した、  
いっぱい旅行に行きたいな。

よし介工芸館

大坪 彩花さん

「おせち」

青木 兵衛さん

## 特集 「お正月」のイメージや

## 今年の抱負など みなさんにインタビューしてみました！

のうのう！  
(初詣に行くこと)

湘南セシリ亞

森 深幸さん

静かに暮らしたい

湘南セシリ亞

井上 八太郎さん

臨時団体列車『成田山初詣号』  
に乗って新勝寺に初詣に行く  
のが僕の夢です。

藤田 記久さん

サービスセンターばる

今年もね  
いっぱいワクワク  
私の時間

よし介工芸館

蘆田 知枝さん

おせち、おもちや、  
初詣ばんばん！

湘南ゆうき村  
鎌木 鑑子さん

藤沢市に越してから初めて迎えるお正月  
です。お兄さん家族とたくさんのおうちそ  
うを食べることです。特に伊達巻が好き  
なので、今年は何個食べれるかな？

相談支援フリーザ  
こうの ちずこさん

誕生日のおでかけが好き。  
楽しい一年にしたいな。

湘南あおぞら  
水島 肇さん

心身の健康寿命を維持して行く  
87歳、米寿に近づいてきた。  
社会生活を自覚し、支援を利用して  
米寿を迎える様にしたい。

六会地区在住  
岡田 良元さん

長野に行きたい。  
サービスエリアで  
お土産を買いたい  
和服务を買いたい。

湘南だいち  
村田 祥子さん

にしかわ しおりさん

年越しに家族みんなで紅葉  
みます。シャニーズが出てたら  
ひたたかで歌い出す。

湘南だいち  
長谷川 京緑樹さん

# いつわ会とは

社会福祉法人藤沢育成会には知的障害者を対象とした入所および通所の施設が平成11年4月当時は五個所ありました。その五つの施設を利用する家族が互いに情報交換を密にして、親睦と融和を図り、その協力によって利用者の福祉向上に努めようという主旨で各施設の代表者で構成される会が設立されました。

当初は藤沢育成会施設利用者家族連合会の名称で発足しました。その後会の名称をつけることになり、いくつかの案が出されました。その時の役員のお一人の案で「いつ」の施設の「わ（和または輪）」という意味を込めて「いつわ会」と名付けられました。

平成14年度に各施設の家族全員が会を構成する内容等に会則が変更されました。（現在は6事業所のほか、ヘルパー派遣などのサービスセンター・グループホームも10か所など法人の事業も拡大してきております）

## 「わかりやすい成年後見制度のはなし」

「いつわ会」成年後見制度特別委員会主催

9月7日ミナパーク

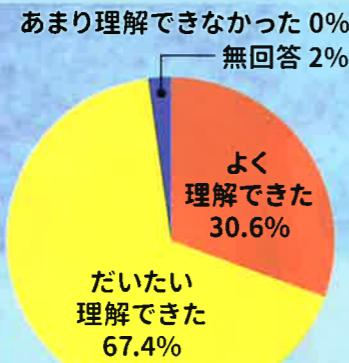
いつわ会では、これまでにも成年後見制度について講演会や勉強会を行ない考えてきました。この間、利用者の高齢化は確実に進み、親亡き後の問題をいつまでも立ち止まって考えていないで、とにかく一步を踏み出そうと昨年、成年後見制度特別委員会を作り活動を始めました。

高齢者に比べて支援を受けて生活する期間の長い障がい者にとっては、継続性、集団的支援体制が構築できるなどのメリットを持つ、法人後見が適していると言われます。我々も法人後見を実現することができないかと考え、既に法人後見を行っているNPO法人の方々や、いろいろな専門分野の方々のお話を伺ってきました。実現するにはかなりハードルが高いことも事実です。基本中の基本として制度の理解が不可欠であると考えていました。

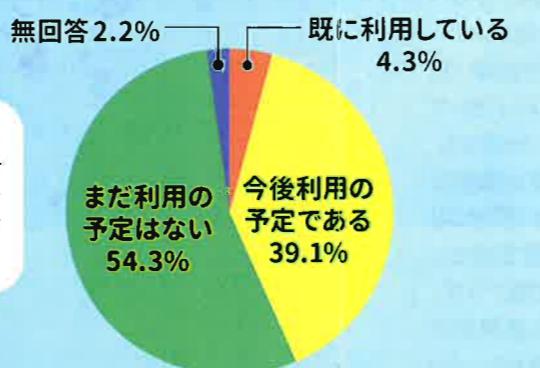
この度、成年後見制度に関する県民講座や市民講座で講師を務められ、わかりやすくお話される内嶋弁護士に来ていただけたことになりました。この機会に是非家族の会の皆さんも先生のお話を聞きになって、成年後見制度に対する理解を深められてはと、9月7日（木）10：30から藤沢商工会館ミナパーク6Fホールにて講演会を開催いたしました。講演会の事前申込みは81名、当日参加者は71名でした。

会場で参加者の皆さんにご協力をいただきましたアンケートの集計結果 アンケート配布件数：当日出席者71件 回収件数46件（回収率64.7%）

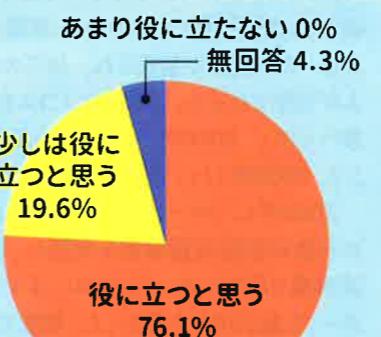
Q 成年後見制度が理解できましたか？



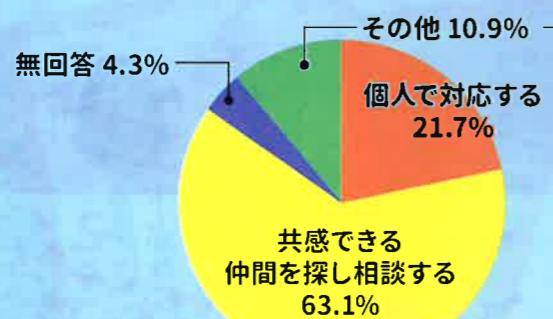
Q ご本人に成年後見制度を利用していますか？



Q 成年後見制度は、ご本人の生活に役立つと思いますか？

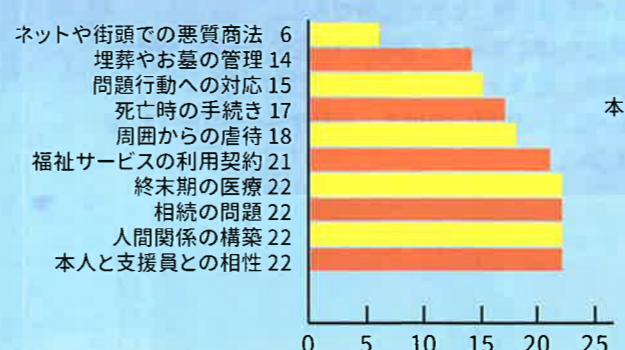


Q 親亡き後では遅すぎる！今できることから始めるとしたら…



- 問題整理し検討してみる
- 家族と相談
- プロの方に依頼する
- 今日伺ったことを参考に
- 市・福祉課の担当者と相談をしてみる
- 今日伺ったことを参考に
- よく考えることから始める
- 市・福祉課の担当者と相談をしてみる

Q 親亡き後、ご本人のことで気がかりなことは何ですか？（複数回答）



アンケートの自由記載欄には、25名の方が記入してくださいました。「わかりやすかった」という記述がほとんどで、いくつか紹介しますと「こういう研修会は初めて」「もっと勉強したい」「内嶋先生の第2回の勉強会をしてほしい」などです。特別委員会では、今回のアンケートの内容を検討し、家族の会の皆さまの要望に沿った活動を行いたいと考えています。各事業所の特別委員まで、ご要望をお寄せください。

## 2017年チャリティコンサート インクルージョン ふじさわコンサート

### お礼

2017年11月18日(土)秋葉台文化体育館にて、今年度の藤沢育成会チャリティイベント「インクルージョンふじさわコンサート」が開催されました。

今年度は湘南台高校吹奏楽部「White Shooting Stars」と、湘南ドルフィンズマーチングバンドにご出演いただき、素敵な演奏とマーチング演技を披露していただきました。皆様のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。なお、収益は利用者の施設整備等に使わせていただきます。

チャリティコンサート協力準備委員会 一同

### 收支報告書

収入	
科目	金額
チケット売上	707,000
チケット販売上	120,015
チケット売上協力金	210,000
寄付・募金等	10,000
合計	1,047,015

支出	
科目	金額
会場使用料	148,120
印刷費	69,137
花束代	10,800
雑費	51,448
合計	279,505

収益
767,510

## 30周年記念シリーズ③

2004年の  
アメニティフォーラムに  
出展したばるのスタッフ



1998年、湘南あおぞらの開設とともに「サービスセンターばる」が開所した。開所と言っても、事務所は湘南あおぞらの3階の小部屋を間借りし、スタッフも4人ほどしかいない、ささやかなスタートだった。表向きの規模は小さいが、「サービスセンターばる」の出発には意気軒昂たるエネルギーがみなぎっていた。「箱モノだけによる支援の時代は終わった。これからは個別のニーズに即した、きめ細かい地域生活支援がなにより重要だ」という理念を「サービスセンターばる」のスタッフだけでなく、法人全体が共有していた。地域生活支援と言っても、かろうじてグループホームの制度がある程度で、公的なサービスは何も整っていなかった時代である。「サービスセンターばる」は、金銭面でもサービス内容の面でも公的制度に何ら頼ることのない、いわゆる「法人持ち出し」の独自事業として展開するしかなかった。それでも、というかだからこそと言うべきか、「地域生活支援の新しい時代を切り拓いて行こう」という情熱が「サービスセンターばる」の小さな一室から沸き立っていた。

「サービスセンターばる」が最初に取り組んだ事業は、1999年7月からスタートした「タイムケアサービス」だった。自由契約により、時間単位でサービスを提供する事業である。通所か入所の事業所しか存在していなかった当時としては、画期的なサービスシステムだった。自由契約とは要するに自費負担ということだから、利用者の方にはある程度の出費をお願いすることになった。当時のスタッフに聞いたら『冗談だけど「サービスセンターばる」という声もあった』と笑って証言してくれたが、そんなやり取りができるのは、スタッフと利用者が「今は高額の自由契約でやらざるを得ないが、これを何とか公的な制度に創りあげていきたい」というパイオニア精神を共有していたからこそだと思う。

2003年に障害福祉の抜本的な制度改革が行われ、支援費制度が導入された。「措置から契約へ」と言われる大改革である。それに伴って、「タイムケアサービス」は、公的制度の「居宅介護・移動介護」として位置づけられることになった。利用者の自己負担も大幅に減り、制度創生の悲願がかなうことになるが、「サービスセンターばる」の「タイムケアサービス」はモデル事業的に国の制度作りに寄与したという面もあり、スタッフの喜びは格別のものだった。

支援費制度の導入によって、新たに児童デイサービスというサービス形態が正式に事業化された。これに伴って法人として初めて、児童期・学齢期の支援を始めることになり、2004年に児童デイサービス「星の村」が作られた。引き続き2005年には、児童デイサービス「小塚」ができ、「サービスセンターばる」の中に「子ども支援部署」が確立されていった。「子ども支援部署」は順調に発展し、2009年に児童デイサービス「小塚」に未就学クラス「はぐ」が併設され、2011年には善行

## 時代のニーズに即して、 サービスを拡大

地域貢献係 小林博

に児童デイサービス「プリズム」を開設した。2012年に法改正があり、児童デイサービスなどの児童関係の事業は「放課後等ディサービス事業、児童発達支援事業、保育所等訪問支援事業、障害児相談支援事業、計画相談事業」という名称となった。

2002年にグループホームのコーディネーターが正式な職種として位置づけされ、「サービスセンターばる」の中に「グループホーム部署」が作られた。この時点では、「黒崎ホーム」、「はとりメイツ」、「かわせみハイム」、「菜の花ハイム」が存在していたが、「グループホーム部署」の創設により、グループホームの開設が加速され、以下のように次々と新しいホームが出来ていった。2003年「コスモス湘南」、2005年「和泉ハイツ」、2006年「ハイツリール」、2007年「ハイツレザン」、2008年「ハイツソレイユ」、2012年「クレソンハイツ」。

2006年に「サービスセンターばる」の相談室が藤沢市から委託相談支援事業を受託し、法人として本格的に相談事業を開始した。2011年には「六会地域包括支援センター」を藤沢市から受託した。現在では、「相談支援プラザ」の名称で相談部門が統合され、湘南ゆうき村に事務所が置かれている。2014年に「湘南だいち」が開設された。「いとぐるま」(生活介護)、「ぶれっじ」(児童発達支援事業)、「はんもく」(短期入所)の3部門があり、児童期の支援、生活介護、短期入所の充実をという利用者ニーズに対応した、最新の設備を備えた複合施設である。

藤沢育成会はご本人・ご家族の切実なニーズに寄り添い、時代を見据え、将来を切り拓く事業を展開し続けてきた。インクルージョン社会の実現に向けて、これからも生き生きと活動を続けていきたい。



湘南だいち開所式

## Samu's Voice 13

社会福祉法人藤沢育成会 理事長 石川 修



### 新年を迎えるにあたって

社会人1年目の元旦、帰宅できなかった子たちの“初外岀”担当となり、弁当持参で出かけた。マリンタワーは良いとしても寒空に弁当を広げる場がない。やむなく考えたのが実家。一室を占拠して遅いお昼となった。母が汁物を用意してくれたが誰も手をつけられない。熱くて飲めないのである。仕方なく少し水を差すと母は気に入らない。だが、50年近く前の施設に保温食器はなかった。事情を説明し理解してもらった。これを聞いた兄が授業で“やさしさ”について話す時、この話をした。相手に添う優しさの例だった。

話を聞いて苦虫を噛む思いだったが、新米は十分説明できなかった。冷たい汁物しか飲めないのは施設の環境が原因。環境を変えることこそ“やさしさ”だと今ならはっきりと言える。母も兄も悪くない。

今どきは観光地で温かい食事が出来るだろうが、当時はこんなことも出来なかった。こたつを用意したデイルームで穏やかな元旦を迎えた記憶もあるのにどうしてこれが忘れない。廻揚げも羽根つきも消え、我が家の味・おせち料理は外食産業。来年は法人設立30周年。時代と共にお正月の味が変わるように障害者サービスの“質”も変えなければいけない。

### ますます華麗に 節子の部屋

藤沢育成会後援会『いづみ』会長  
西條 節子

#### 明かりが見える街中に住まう。

街の中で過ごし、街に役に立つように、湘南セシリアの土地を買ったのですよ。バス停から徒歩圏内の土地に買うのはなかなか大変だったのです。

建設前には近隣住民の方々からの反対運動にあったのです。中にはトンネル掘って通らしてくださいなどの意見があった。お母さんたちの熱意を山内さんと一緒にになって、相手はわからないから言ってくるので、質問に正直に答えていたんです。2年ほどかけて理解していただけたのですが、最後は地域の長老が「今までやっているんだ！」と鶴の一声で決まったので。

その後無事に湘南セシリアは建設ができ、今につながっているんですよ。

長老の方は、今はお亡くなりましたが、私が住まうCOCO湘南台にお野菜をお孫さんが届けてくれている仲になっているんです。

当時の反対運動があったことは今思えば、大事なことだったと思っています。無関心であるよりも、関係性が持てるからですよ。挨拶も大事ですよね。

お母さんたちは反対運動という暗闇の中をとおって、明りの方へ向かっていくには根気よく、手をつないでまとめて歩いて行ったなあと思います。

そうそう、当時の星の村には楽団があったのですよ。全利用者が参加したの。太鼓の膜が破れるほどたく人々や、チンチロチンチロとトライアングルを鳴らす人などね。音楽の指導をしてくれる人もいて、クリスマスの時期には教会で発表会をするなどもあったのですよ。

### 社会福祉法人 藤沢育成会後援会いづみ 入会のご案内

後援会「いづみ」は、藤沢育成会が進める福祉事業を支援するとともに、藤沢育成会を利用する人と地域の人を結ぶ懸け橋になり、障がいのある人の地域の暮らしや社会参加の実現に向けて、誰もが自分らしく生き生きと暮らすことのできる豊かなまちづくりを目指しています。多くの皆様にご入会いただき、支援の輪を広げていきたいと考えております。皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

#### ○個人会員 年額2,000円から

藤沢育成会の活動に賛同する

一般の市民の方 及び 利用者家族

#### ○団体会員 年額10,000円から

藤沢育成会の活動に賛同する企業・団体

#### 振込先（郵便局）

口座番号 00240-5-65378

社会福祉法人藤沢育成会後援会いづみ会長西條節子

0466-25-5551

(社会福祉法人藤沢育成会湘南あおぞら 担当：石川)